



## 本年もよろしくお願ひ申し上げます

### 新しい年に向けて

学校法人中越学園 理事長

土田 和弘



昨年は新型コロナに明け、新型コロナに暮れた一年でした。この新型コロナウイルス感染症の最大の謎は、なぜ日本での犠牲者が特に欧米諸国と比較して、相対的に少ないのかという点にあります。昨年12月中旬時点での比較では、人口100万人当りの死亡者数は、日本では21人となります。最大の国はベルギーで1,600人近い数字であり、日本の実に75倍です。この多寡を決めるもの、いわゆるファクターXと言われるものは何なのでしょう。近い将来に有効なワクチンが開発されたとしても、この謎が解けたことにはなりません。

実は犠牲者が少ないのは日本だけではなく、アジア全体、オセアニア、アフリカでは、ごく少ない例外を除いてどこも小さな数字になっています。つまりコロナの問題というのは、日本が少ないという問題ではなく、なぜ欧米が多いのかという問題なのです。これに対しては、病理学、社会的習慣、主な食べ物、家族形態などの観点からたくさんの説があるようですが、決定的な説はまだ現れていません。

本年が、自由な発想からこの謎を解く年となることを願っています。大袈裟に言えばそれは世界の謎を解くことなのです。

### 人とのかかわりの大切さを感じて

長岡大学 学長

村山 光博



新年明けましておめでとうございます。元号が平成から令和に変わったのは、ついでこの間のこのように思えますが、今年はずでに令和3年、まさに「光陰矢の如し」ですね。

昨年は激動の1年でありましたが、個人的にはあらためて人とのかかわりの大切さを心から感じた年でもありました。これまでとはくに意識していなかった何気ない人との会話や交流が、いかにありがたいことであるかを実感した場面もありました。

一方、社会では急速なデジタル化により、遠方の人とも簡単にリモートでの面談が可能になりました。しかし、アナログからデジタルへの変換は、技術的には情報を間引くことで実現されています。人との対面での会話をアナログとすれば、デジタルによるリモートでの会話では補い切れない部分はどうしても存在します。

私たちは今、歴史の転換点に立っているとも言われますが、家族や友人とのかかわりや、職場や地域の人々とのかかわりなど、私たちが常に人とのかかわりの中でお互いに支え合って生きていくことには、今後も変わりはないと思います。人とのかかわりにおいても、アナログとデジタルそれぞれの特長を踏まえた柔軟な活用が求められるのではないのでしょうか。

## 就勝出發式&合同企業セミナーを開催します

2022年3月卒業予定の学生を対象とした「就勝出發式」及び「合同企業セミナー」を開催します。

これから就職活動が本格化する3年生ですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、例年とは異なる就職活動となっています。

そのため、今年度の「合同企業セミナー」は密を避け、より多くの企業から情報を得られるように2日間に渡って実施します。さらに、「就勝出發式」にて早期内定を勝ち取るための決意を持つ機会設けて、これからの就職活動に積極的に取り組むことを誓い、学生と教職員が一丸となって取り組んで参ります。

### 就勝出發式

2月 9日 (火) 226教室 13:30~

### 長岡大学主催合同企業セミナー

2月22日 (月) 長岡グランドホテル 午前の部 9:30~12:00  
2月25日 (木) 長岡グランドホテル 午後の部 13:30~16:00



# 「令和2年度 学生による地域活性化プログラム成果発表会」が開催されました

令和2年12月5日(土)13:00～17:30、ホテルニューオータニ長岡 NC ホールにて、「令和2年度 学生による地域活性化プログラム成果発表会」が開催されました。このプログラムは、学生が地域の課題を対象に調査研究を行い、学生の社会人基礎力、企画・提案力の開発と地域活性化への貢献を実現することを目指すプログラムです。

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を制限しての開催となりました。参加者は地域活性化プログラム参加ゼミ学生、アドバイザー、教職員、4年生の保

護者の方、連携機関関係者の方で168名でした(去年は334名)。

5月から8月までは思うように活動できませんでしたが、短い期間で精一杯できる事に取り組んできました。

発表後に各ゼミのアドバイザーから活動に対する貴重なご意見をいただき、今後実施すべき調査、改善点等、次年度に向けた方向性も含め多くの収穫がありました。学生が地域に貢献できる人材として活躍できるよう、今後も当プログラムに取り組んで参ります。



生島義英ゼミ



石川英樹ゼミ(1)



石川英樹ゼミ(2)



石川英樹ゼミ(3)



鯉江康正ゼミ



権五景ゼミ



坂井一貴ゼミ



栗井英大ゼミ



広田秀樹ゼミ



喬雪氷ゼミ

## プログラム

- 1 長岡市摂田屋の魅力を高め、観光客を増やし、地域活性化を図る(ー現状の把握と分析ー) ..... 生島義英ゼミ
- 2 栃尾の雁木通り空き家活用～ギャラリー創設支援とにぎわい創出事業の実施～ ..... 石川英樹ゼミ(1)
- 3 栃尾繊維業のPRに向けたマスク考案と裂き織りによる商品開発 ..... 石川英樹ゼミ(2)
- 4 フォトコンテスト開催による栃尾地区のPR ..... 石川英樹ゼミ(3)
- 5 まちの情報発信拠点「まちの駅」の認知度アップに向けて ..... 鯉江康正ゼミ
- 6 十分杯で長岡を盛り上げよう！ ..... 権五景ゼミ
- 7 データエビデンスに基づいた地域をより良くするための提言～地場産業・観光を中心に～ ..... 坂井一貴ゼミ
- 8 オープンファクトリーで長岡を活性化！ ..... 栗井英大ゼミ
- 9 グラスルーツグローバルイノベーション-草の根・地域からの人類一体化の推進 ..... 広田秀樹ゼミ
- 10 商品開発から学ぶ会計と経営ー伝統文化と現代技術の結晶「みどり繭」を巡ってー ..... 喬雪氷ゼミ

## 総合アドバイザーによる総評



株式会社フーゲツ 代表取締役社長  
千葉 智 氏

まず皆さんのゼミでのこの活動を選んだ背景、目的があって、どんな目標にするかが重要です。最初からよい目標を作るとは難しいです。目標が良ければ、活動内容も良くなります。せっかく活動するのでですから目標をきちんと設定してください。それにより振り返りがきちんとでき、何かに気づきます。それが皆さんの成長につながります。



長岡市地方創生推進部 政策企画課課長  
大矢 芳彦 氏

新型コロナウイルス第2波、第3波の中で皆さんの行動も制約があって苦勞されたと思います。皆さんが取り組む地域活性化プログラムにおいては、地域貢献の結果を数値として「見える化」していただくことをお願いします。活動によって、地域がどれだけ元気づけられたかを示していただきたい。期待しています。

## Webアンケートのお願い

本学では、本誌による皆様への情報提供を充実させていきたいと考えています。そのため、今後の制作の参考とさせていただきますのでお手数ですがWebアンケートにてご意見、ご感想をお寄せください。

URL: <https://forms.gle/B13VQBT7YDGTj17S9>

